

令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月9日(木)	会場	田子浦小学校	参加者数	13名
分科会	副会長の部(小A)	助言者	田子浦小学校校長	
司会者	広見小学校PTA会長	記録者	青葉台小学校PTA会長(代理)	
<p>テーマ</p> <p>① コロナ禍のPTA活動</p> <p>② これからのPTAのあり方について</p>				
会議概要				
自己紹介と現在の状況を伝え合う				
① テーマ				
<p>二小…PTAブログを開設している。閲覧数が伸びている。(先生に写真を提供してもらっている) 成人教育部の活動(学校とは別にする。不特定多数が閲覧する顔はわからないようにする。)</p> <p>↳ 好評な反応がみられる。</p>				
<p>丘小…コミュニケーション不足 先生と 部員と などなど。意思疎通が取れない。</p> <p>Zoomもやってみたけれど、一方通行のコミュニケーションになってしまう。</p> <p>執行部で親睦会を行ってみた。やはり意思疎通やコミュニケーションはとることができた。</p> <p>学校→色々と開催していきたい。(給食試食会→学校も感染防止対策を知ってもらう良い機会)</p> <p>子どもは学校に来ている、部員も来ることができるはず。</p>				
<p>会議のオンライン化→南小 小学校に来ているが教室を分けて対面を避ける</p> <p>→北小 ハイブリット形式来られる人とオンラインを分けた。</p> <p>→広見 定例会 ハイブリット式(来る人、オンライン) Zoom使用</p> <p>オンラインでも表情が見えるようにする。(安心する)</p> <p>まちづくりセンターを使用するとWiFiが速い</p> <p>Zoomは録画もできる。以後の視聴も可能になる。</p>				
司会 コロナ禍のPTA活動について				
<p>川一…環境整備活動は年一回にして二回目は地域の協議会と共同開催。メリットデメリットがある。</p> <p>全員参加といいにくいいため人が集まらない。コロナ前200人以上 コロナ後100人切る</p> <p>保護者のPTA活動への意識の低下がみられる。</p>				
<p>川二…コロナで修学旅行ができない。PTAで子どもたちを楽しませる活動を行っていった。いらぬ活動は、削減するが子どもが求めているものは増やすことも必要。</p> <p>理事会はかなり行った。ZOOMなどを利用しながらも。コロナでより、子どもたちのことを考えた。</p>				
司会 地域とともにあることが必要。(市もそれを求めている。)CSディレクターが入っている。				
② テーマ				
<p>天間…小学校の組織が分からない。くじ引きで役員が決まる。びっくりはする。小さい学校だからかもしれないがやりやすいと思うが、PTAについて知らない人が多いから、負担感がすごい。</p>				
<p>二小…PTAについてのアンケートを実施してみた。ほとんどが「知らない」「わからない」が多い。</p> <p>活動を知ってもらう活動は大切。</p> <p>書面でとって、集計 → マチコミで配信</p>				

広見…わからないから不安→できないということになる。親の教育が必要。知ってもらい、引き込むことが必要。

共働きが多い→年間の行事を知っていれば休みの調整もきくのではないか  
→年間計画の見える化が必要  
→アンケートは Google フォームをしよう。

一小…PTA についての仕事内容・活動についてアンケート → 内容は執行部が検討  
役員の仕事の紹介 → 分からないことを書面で見える化

三村…学校評価で PTA の欄はない。学校評価は学校に興味をもつきっかけになる。ということはアンケートを取る意義がある。

司会 奈良市の PTA の HP に手引きが存在する。参考にしてみてもうどうでしょうか？

二小…「PTA の手引き」の必要性 活動が分からないというのが予想より大きい。作る必要性を感じた。  
地域との関係性が深いと、区別がつかなくなる。

中央…CS さんが有用 CS さんがもっと絡めていけないか。CS は学校にいる時間が長い子供をより理解している存在。

司会 須津小 P T A 会長→CS を兼務している 貴重な存在。

北小…P T A の役員がCS になる。

川一…CS 元先生がなっている、学校が求める内容を処理してくれる。

P T A の今後の形の正解はないが、それぞれの学校で模索し形にしていくことが大切。

三村 それぞれが話をしていくことが大切だということを改めて実感しました。  
子どもたちの様子を発信していくことが大切。PTA は人とのつながりが生まれることが宝。  
PTA 役員をやってくださる皆さんに感謝。  
子どもは地域の宝ある、地域と一緒に育っていくことが大切。

# 令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会

## 分科会会議記録簿

令和4年6月9日(木)	会場	富士市立田子浦小学校	参加者数	15名
分科会	副部長の部(小B)		助言者	須津小学校校長
司会者	吉原小学校P T A会長		記録者	須津小学校P T A会長
テーマ 1 P T A活動について 2 役員選出方法について				
会議概要				
1 P T A活動について				
事業そのものの数を減らす方向で動いている学校があり、半分ほどに削減したという学校が複数校あった。コロナ禍で中止になった事業を復活させようとしたところ、賛成が得られなかったとの声も聞かれた。役員会については減らした学校と、例年通りという学校に分かれたが、月1回と二月に1回が半々ほどであった。事業の減少により、会員同士の交流機会が減り、新しい役員の勧誘や引き継ぎが難しくなったと感じている人が多かった。また、富士祭りの復活により、地区の祭りに参加を決めたところが多かったが、飲食禁止などの制約があり、例年とは異なる内容で出店を考えたり参加を見送ったりした学校もあった。祭りの打ち合わせをオンラインで行った地区があったり、P T A総会をオンラインで行った学校もあった。				
助言：地域や児童クラブと連携して祭りをやることはよいこと。今年度、市内の全小学校がコミュニティ・スクールとなったこともあり、P T Aが地域と連携する機会は大切にしたい。				
2 役員選出方法について				
吉原小:役員は個人勧誘。会長は役員の中から互選で決めていたが、今は各部から順番で出している。				
伝法小:役員は個人勧誘。会長は役員の中から三役を経て流れの中で決まっていく。				
他の学校は地区で輪番制。会長は役員の中からそれなりの人を選ぶようにしている学校も少しあるがそれも難しくなっており、大半が会長を含めて輪番制を取っている。学校規模によっては、複数回役員をしなければならないところもある。「会長をやると役員を2年免除」や「小学校で大役をやると中学校では大役を免除」などの優遇措置があるところもある。伝法小には役員をやるメリット				





令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月9日(木)	会場	富士中央小学校	参加者数	12名
分科会	成人教育部(小A)	助言者	東小学校校長	
司会者	富士第一小学校PTA会長	記録者	鷹岡小学校PTA会長	
テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA新聞について</li> <li>・コロナ禍でできること</li> </ul>				
会議概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA新聞について</li> </ul>				
PTA新聞を作成している学校が多い(紙面・WEB)				
個人情報の扱いには気を付けていて最初に承諾をとる				
後ろ姿の写真のみを使用する				
先生に最初に写真撮影OKな児童を確認しておく				
先生の紹介とPTA活動の報告のみで児童の写真は使用しない等				
過去に写真を悪用されたことがある学校もあるようなので児童の写真だけでなく先生方の写真や				
PTA役員の写真を載せることも慎重になるべき				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でできること</li> </ul>				
講演会を担当している学校も多く講演会の資料を作成するにあたり著作権についても配慮する必要があるのではないか				
著作権個人情報について相談できる場所がほしい				
コロナ禍をきっかけに活動を見直ししたいという学校もあり、本当に必要な活動に力を注いでいきたいという意見がありました				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>				
PTAのつどいの壁新聞が年々凝りすぎになってしまっているのではないか				

# 令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会 分科会会議記録簿

令和4年6月9日（木）	会場	富士中央小学校	参加者数	17名
分科会	成人教育部（小B）	助言者	富士中央小学校校長	
司会者	伝法小学校P T A会長	記録者	大淵第二小学校P T A会長	
<p>テーマ</p> <p>PTA 新聞の内容について</p> <p>3校合同企画について</p> <p>PTA の引き継ぎについて</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>(1) PTA 新聞の内容について</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で実施できていないが、各部の活動の様子の写真撮影は依頼している。</li> <li>・PTA の集いの壁新聞が凝りすぎていて負担が大きい。</li> <li>・そもそも壁新聞がどんなものかわからない。壁新聞の規定や内容について書面でいただきたい。</li> <li>・先生紹介を LINE で流し、次の人にも引き継げるように工夫している。</li> <li>・新聞は、PTA の活動と子供達の変容がわかる内容だと良いのではないか。</li> <li>・コロナ禍で人が集まれず、結局少人数（一人の場合も）で作成することになり負担が大きい。</li> <li>・できる人ができる範囲でやれば良いのではないか。</li> </ul>				
<p>(2) 3校合同企画について</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会や子供参加の学習会などの形態で実施したことがある。</li> <li>・3校合同とは何かわからない。引き継ぎもない。成人教育の担当なのか不明。</li> <li>・子供第一に考えると楽しくなる。（マスオさんの声優を講師に呼んだことがある）知人のツテで。</li> <li>・Web ページから講演会の講師紹介、オンライン講習会等で検索すると情報が集まる。</li> <li>・市の講師紹介リストから選ぶと補助金もある。</li> <li>・子供たちのためにできる範囲で実施すると良いのではないか。</li> </ul>				
<p>(3) PTA の引き継ぎについて</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に過去のデータ（平成の終わり頃の PTA 活動が活発な頃）があれば提供いただきたい。</li> </ul>				

・現在の役員は、皆新規であり、何をやったらよいかわからない。

・コロナ禍で、前任者もわからず、十分な引き継ぎがない。

・人手不足で PTA 活動も見直しの時期に来ているが、ただ無くすのではなく、前向きな解消が必要。

・一人で抱え込まず、会長や学校教職員に相談すると良い。

・人が変わると、活動もわからなくなってしまう。丁寧な引き継ぎを行う。

・持続可能な PTA 活動を目指す。

令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月9日(木)	会場	富士中央小学校	参加者数	14名 (欠席2名)
分科会	成人教育部(中)	助言者	富士川第二中学校校長	
司会者	吉原第一中学校 P T A会長	記録者	吉原第二中学校 P T A会長	
テーマ ① P T A 新聞について ② P T A 活動について				
会議概要				
① P T A 新聞について				
●コロナ前後で変わった点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行回数を減らし、その分を例年の白黒からカラーに変更し、記事の内容も変えた。</li> <li>・行事が少なくなった為、写真を多めにし、カラーにして欲しいという意見が多かった。</li> <li>・部活動の他、例年保護者が参加出来た行事も参加出来なくなってきている為、先生方に写真撮影をお願いした。</li> <li>・写真が撮れる頻度(ネタ)が少ない為、なるべく楽しい雰囲気の写真を先生方に撮ってもらう様をお願いした。</li> <li>・修学旅行や林間学校などは遠目の写真が多く、改めて集合写真を撮る場面がない。</li> <li>・平日の学校で撮る写真はコロナ禍での役員負担を考慮し、学校をお願いした。</li> <li>・参加者が限られる行事(ex.中体連 他)では撮影が中々できない。</li> <li>・LINEなどを活用し役員同士で写真等のやり取りをし、集まる機会を減らしていた。</li> <li>・活動が減った為、P T A 役員数を減らし、発行回数も減らした。(2回/年→1回/年)</li> <li>・学校HPへのリンク貼り付けをお願いしたが、HP管理が市の管轄である為、断念した。</li> <li>・行事毎に役員を振分け、分担して写真撮影をし人数を減らして行っていた。</li> <li>・P T A 新聞を廃止し、学校HPの一部にP T Aの欄を設けて掲載するトライアルを実施中。その際、役員は文章を作成し写真と共に学校に提出、学校事務員の方が写真を選び掲載している。</li> <li>・例年通りA3見開きで年2回ページを変えず発行。 メール・LINEを活用し学校の負担を減らしている。</li> </ul>				
(助言者：三上校長先生) 学校HP掲載は各校の教務主任経由で相談すれば検討できると思う。				
●個人情報、肖像権について				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真確認は先生も部員もラインでのやり取りは禁止。(SNSへのUP事故あり/鷹岡)記録媒体での受け渡しで限定するなどを徹底している。</li> <li>・顔がわかる写真を掲載する場合は、同意を取り掲載としている。(ただし同意書などは書いていない)</li> <li>・集合クラス写真を掲載する場合等、対応が難しい。 →掲載反対の方がいる場合は、集合写真の在り方、撮り方に悩む。(事前に確認し撮るなど)</li> </ul>				

## ② PTA 活動について

### ●三校合同活動

- ・保護者、小学生、中学生が参加した行事(地域の神社を活用し神主さんをお願い)を計画中。
- ・生涯学習+三校など複数団体での活動があったが今年から中止となった。
- ・三校の定義がそもそもわからない。→地域毎での区分け  
ex) 吉原一中&吉原小&伝法小、吉原二中&今泉小&青葉台小 等
- ・小中合同事業は、講座形式の物が多い(命の大切さ、スマホ教室など)
- ・合同事業を開催すると人が集まり過ぎてしま可能性もあり、開催を躊躇してしまう。
- ・人を集めての講習会など、お金を掛けて講師を呼んで開催しても身内しか来ない。  
→子供たちに受けが良い講師を呼ぶなどすると人が集まりやすい。

### ●成人教育部員数

部員数は各校で異なり約5~11人程度 ※上述の役員を減らした学校は今年16人→11人に減少との事

### ●役員選出について

地区役員とPTAの兼任で実施している校区は意外と少ない。  
役員選出については各学区での悩み事となっている。  
(人の減少、行事の減少、役員多くても実働で動いている人は限られている)

### ●学校壁新聞について

壁新聞は廃止した学校もあり、学校により異なる。

賞をとる為だけが目的の行事になってきており、主旨がわからなくなっている。

廃止出来るなら廃止したい(満場一致意見)。 (ただしPTAのつどいは今年度も予定されている)

### (記録者所見)

PTA新聞については大半の学校で発行頻度(回数)を減らしており、記事にする行事自体が減っているからであると改めて感じた。各校、その分カラーにしたり内容を変えたりと工夫していた。また肖像権などの問題で、掲載写真については非常に神経を使われており、皆さんの苦勞が伺えた。PTA活動の学校HPへの掲載は、経費と工数の削減になり役員負担が減る良い考えだと感じた。一方、研修会の後に助言者の三上校長先生とお話させて頂いたが、HP掲載による電子化も非常に良い考えだが、学校新聞を地域に配布するところもあるというお話があった。私の地場の今泉地区でも、地域各町内の回覧版で回覧されてくる。HP掲載だけになると、関係役員のみが確認で見る程度となってしまう、回覧を楽しみにしている地域のお年寄りや他の保護者などは目にする事が無くなってしまいう懸念も残ると感じた。

令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月9日(木)	会場	元吉原小学校	参加者数	12名
分科会	体育保健部(小A)	助言者	富士見台小学校校長	
司会者	富士第二小学校PTA会長	記録者	富士南小学校PTA会長	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での各学校の活動・活動方法について</li> <li>・運動会以外での活動について</li> </ul>				
<p>会議概要</p> <p>コロナ禍での各学校の活動・活動方法について</p> <p>体育保健部では各学校運動会の準備・運営の手伝いが主な仕事となっている。</p> <p>今年度各学校運動会が中止・縮小(2～3学年ごとのスポーツ大会)となり体育保健部の活動も準備に関しては学校の先生方で賄ってしまうため、あまり手伝いができていなかったのが現状。</p> <p>当日の警備が主な仕事となっているとの事でした。</p> <p>学校によっては体育保健部が主となり、夜間に地区の学校と合同で運動イベントを行っている。</p> <p>各学校の活動・活動報告(運動会の代替行事の方法等)は下記の通りです</p> <p><b>第一小学校</b>：スポーツフェス(2学年ごとの運動会)</p> <p>環境整備部と連携してクリーン作戦(プール清掃・草刈り)を年2回行う</p> <p><b>第二小学校</b>：平日に体育学習発表会(体育の授業を見てもらう・2学年ごと観覧)</p> <p><b>田子浦小学校</b>：スポーツ大会(授業参観の延長・2学年ごとの観覧)</p> <p>PTAとしての活動はできなかった</p> <p><b>岩松小学校</b>：スポーツフェスタ(3学年ごとの運動会)</p> <p>PTAとしては駐車場・学校内の見回り巡廻を中心に活動した</p> <p><b>鷹岡小学校</b>：中央自動車学校を駐車場として貸りる為、当日警備等を行う。</p> <p>隔週金曜日に保護者が現状10人程集まってインディアカを行っている。</p> <p>10月頃に鷹岡地区(小・中・天間小)3校でインディアカの大会を行う</p> <p><b>広見小学校</b>：スポーツフェスの前日商店街への駐車禁止の札を付け、当日は見回り、</p> <p>会場での日傘をさしている方への注意</p>				

<b>富士南小学校</b> ：南小体育の日（2学年ごとの運動会）
当日は道の駅、まちづくりセンターへ駐車しないよう警備を行う。
コロナ前は3校合同（南中・第二小学校）とバレーを行っていた。（2年不開催）
<b>天間小学校</b> ：運動会は保護者の参加は事前申告制であった。（学校主体）
PTAとしては当日子供たちが使った道具の消毒・片付け
月2回インディアカ教室を行っている。
<b>岩松北小学校</b> ：運動会当日はグラウンド内で写真撮影を行う（近いところで）
→学校へ提出で卒業文集や新1年生へのプレゼン用の資料として使う
（一般家庭での閲覧はできず、写真の販売等もなしとの事）
学校に相談し何をしてほしいか聞いたところプール清掃をとの事で行った。
コロナ前はドッチビーを企画して行っていたができなくなった。
<b>富士川第一小学校</b> ：環境整備部と今後合同での活動になる可能性がある
規模が小さいため地域との合同運動会を企画して行ければとの事
<b>富士川第二小学校</b> ：今年度、11月に小中一貫校として初めての運動会を行う予定
学校に泊まろうキャンプ → 中止
5・6年生で修学旅行・丸火に行けなかった学年を対象に
手筒花火大会と夜間学校探検を行った。
<b>各学校の活動報告終了後、助言者である富士見台小学校四條校長先生より講評を頂きました。</b>
今後PTA（各部会）として残すもの・無くすものを検討して頂きたい。
活動に対しては情報の引継ぎをしっかりと行うことが大事である。
学校にPTAとしてやってほしいことを聞くよりも、子供たちに学校の先生・親となにをしたいかと
ピュアな意見を聞いて活動を行っていくのはどうか？
出来たらやってよかったと思える活動为目标に学校・PTAと連携を取り活動を行っていきましょう。
<b>最後に</b>
各学校の活動情報を聞くことができ、大変有意義な時間だったと思います。
コロナが落ち着き従来の運動会、また各学校で行っていた各種スポーツイベントが1日でも早く再開
できること祈り、各学校の体育保健部も活動をしていきたいと思っています。

# 令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会 分科会会議記録簿

令和4年6月9日(木)	会場	元吉原小学校	参加者数	12名
分科会	体育保健部(小B)	助言者	元吉原小学校校長	
司会者	今泉小学校PTA会長	記録者	東小学校PTA会長	
テーマ				
コロナ禍の中での活動内容について				
会議概要				
まず、初めに各校のコロナ禍での活動内容と問題点を発表してもらいました。				
吉原小学校・・・三校合同モルック大会、第一回終了、第二回目を予定している				
教職員、PTAの親睦を深めるモルック練習会				
秋に開催予定のスポーツフェスティバルへのサポートがなくなったことが課題				
今泉小学校・・・現在は学年ごとに時間を分けて行っている運動会への協力(近隣商業施設への				
駐車が後を絶たないため警備)を行っている。				
ナイトウォーク(夜の校舎内を歩くきもだめしのようなもの)の開催を検討				
→コロナの状況により開催方法は未定				
伝法小学校・・・三校合同モルック大会の実施、伝法小学校単独でのモルック大会の実施				
運動会開催時の駐車場整理、コロナ過前まで行っていた救命救急講習会は中止				
元吉原小学校・・・運動会への協力(校内パトロール、感染症対策の呼びかけ、駐車場の整理)				
救急蘇生講習会は今のところ未定				
東小学校・・・地区との合同体育祭の準備と片付け(今年度は開催するかどうか未定)				
救命講習会は今年度も中止				
須津小学校・・・学年ごとの運動会の準備、地域全体的なパトロールの実施				
コロナ前はバトミントン、ドッジボールを開催していたがコロナ後はボッチャを				
行っている。				
吉永一小学校・・・運動会時の巡回片付け、パトロール、親子レクリエーション大会の企画、実施				
比奈公園で行われた青空コンサートへの協力				

原田小学校・・・2学年ずつで行う運動会への協力（駐車場整備など）
校内美化活動（校地内の草取り、樹木の剪定など）
大淵一小学校・・・ボッチャを計画していたが中止
救命講習会は富士市の感染警戒レベルが1にならないと開催できないといわれた
みんなのオリンピック開催の協力（駐車場整備はシルバーさんへ依頼した）
大淵二小学校・・・今年度での廃校が決定しているので子どもたちの思い出に残る行事を企画する
ということで子どもたちからやりたい事を募集している。
富士見台小・・・環境整備部と統合し児童数の減少、親の負担を減らすように活動内容の見直し
を行っている
青葉台小学校・・・2学年ごとの分散開催の運動会時の駐車場見回り、今回は1家族2名までしか
観戦できないようにリボンで識別を行ったが、祖父母からのクレームがあった。
どの小学校も体育保健部の活動ができずにどのような行っているのか模索している状況で、体育保健部の大きな仕事であった運動会への協力も運動会の実施方法が大きく変わったためPTA活動の活動としても大きく変わるものになってきています。
コロナ前まで行っていたソフトバレーやドッチボールは感染対策上実施はむつかしくなる中で、モルックやボッチャなどの新しい競技を取り入れているところもありました。
田中校長からは、子どもたちがやりたいことの提案を受け入れてあげるようにPTAと子どもたちが連携できるのも面白いと思うし、出来ないことが多いので子どもたちに聞いてみるのも面白いと思うとのことがありました。
モルックを開始した経緯の質問には、コロナ前まで行っていたソフトバレーが感染症対策の面で開催が難しくなったために、密になりにくくマスクをしたままでできる事と12本の棒を立てて木の棒を投げ、12本の棒を倒していくとき得点を競うという理解しやすいルールがあげられました。
また、ボッチャは学校の授業で行っているとのことでした。PTAと先生のふれあいの場に行っているとのことでした。

# 令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会 分科会会議記録簿

令和4年6月9日（木）	会場	元吉原小学校	参加者数	16名
分科会	体育保健部（中）	助言者	須津中学校校長	
司会者	元吉原中学校P T A会長	記録者	須津中学校P T A会長	
<p>テーマ コロナ禍でどんな活動を行っていたか。そして今後どんな活動をしていくのか。</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>●今まで3校合同でソフトバレーを行っていたが、コロナの為モルックに変更しました。</p>				
<p>グラウンドで行う為、雨だと出来ませんが晴れたら年2回、雨なら1回でも出来ればいいというスタンスで去年と今年行いました。とても評判がよく、今後も続けていきたいと思っています。</p>				
<p>●昨年は健康に関するセミナー(熱中症になりにくい食事や、夏バテしにくい食生活、質の良い睡眠など) 秋には警察署の災害ボランティアの方にインターネットの正しい付き合い方や実際にあったSNSの事件の話などのセミナーをズームで開催。100人ぐらいの視聴がありましたが、見たかったのに見れなかったという意見もあったので、今後は町センで感染対策をしながら開催も考えています。</p>				
<p>●野外活動として、親子でソロキャンプを企画。個々でキャンプの準備をしてもらい、場所だけ提供という形。</p>				
<p>●運動会は、ほとんどの学校が学年ごとに開催。親の感染は人数制限があり、消毒・検温が義務付けられていました。中には完全無観客という中学もありました。</p> <p>今年、子供の人数が少ない地域では、小学校・中学校・地域の人をまとめて一緒に運動会をやろうと計画している学校もありました。</p>				
<p>●AEDの講習会を消防の方に来て頂き参加希望の方だけ体育館で講習を受けました。</p>				

●インディアカの講習を親子参加で開催しました。

●早朝指導。生徒が朝通る横断歩道に役員が立ち、挨拶運動・見守りを年2回行いました。

令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	吉永第二小学校	参加者数	15名
分科会	環境整備部(小A)		助言者	吉永第二小学校校長
司会者	大淵第一小学校PTA会長		記録者	吉永第二小学校PTA会長
<p>テーマ コロナ禍での奉仕作業、廃品回収、バザー</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>奉仕作業について</p>				
<p>前期：プール清掃、草取り、剪定、校内清掃 後期：校内清掃、水回り清掃、スポフェス前に整備</p>				
<p>募集方法…まちこみで保護者の参加を募る／プリントにて</p>				
<p>保護者の参加が少ない、逆に多すぎて6年生保護者に限定している、などの悩み。</p>				
<p>参加人数によって活動内容を決め、人数なりの活動をするという学校も。</p>				
<p>廃品回収について</p>				
<p>以前同様、古紙回収やアルミ缶回収活動を行っている学校が多い中、回収活動を止め回収BOXを</p>				
<p>配置する学校も。</p>				
<p>→防犯や車のマナーの問題上、門の中に設置しているが回収率が悪い。</p>				
<p>…学校外の敷地(業者の敷地など)に回収BOXを置かせてもらうのはどうか？</p>				
<p>→缶は汚いまま入れられては困る…常時回収ではなく、日程を決めて。子供に持たせるならきれいにしてくれるのではないかな。</p>				
<p>バザーについて</p>				
<p>バザーでの売れ残りがゴミになって困る…体操服、制服など学校用品に限定してはどうか。</p>				
<p>密にならないよう混雑を避けてのバザーを考えているが、後から入場する人にも平等にするためにはどうすればいいのか。などの声もあがっていた。</p>				
<p>その他</p>				
<p>地区によって子ども会の廃止、組織改正をし役員人数を小規模に、理事会はZOOM開催など。</p>				

令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	吉永第二小学校	参加者数	14名
分科会	環境整備部(小B)		助言者	神戸小学校校長
司会者	神戸小学校PTA会長		記録者	富士見台小学校PTA会長
<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">コロナ禍における環境整備部の活動について —活動再開するにあたっての情報交換—</p>				
会議概要				
① 奉仕作業について(自己紹介含め、各校それぞれ発表)				
(1) 大多数の学校が本来は年2回(春～夏、秋)実施計画				
↑コロナ禍により実施できなかつたり、年1回へ変更あり				
↑内容は草取り、樹木剪定、側溝が多数。室内はトイレ、窓。				
(2) 参加する人員は保護者のみの学校と親子の学校が半数ずつくらいの印象				
↑本来は親子で参加だが、コロナ禍の為保護者のみ参加へ				
(従来から、子どものケガへの配慮から保護者のみで実施の学校あり)				
保護者からのボランティアで実施していたが参加される方が毎回同じの為、				
その方の負担を考え業者委託も検討している学校あり				
中にはPTA役員のみで実施の学校も				
(3) 活動内容決定について				
奉仕活動の優先順位を設定し、参加される人数により配置を決め実施				
クーラーの洗浄を行っている学校もある。洗浄スプレーをPTA会費で購入				
↑外せるところは外して清掃、洗浄				
(4) 補足				
2年ぶりくらいに合同研修会を開催したため、前回開催時の専門部長や学校の				
教務課担当の先生が入替わり、コロナ禍前はどのように事業を行っていたか				
の情報が残っていない、分からない学校が多数				
参加者の密を避けるため、1回目を高学年、2回目を低学年の親子に分ける方法も				

② 資源回収について

(1) ほとんどの学校が回収ボックス常設

学校の連絡システム「マチコミ」を使わせていただいて、回収日や回収内容を知らせて学校で回収。(吉原)

回収方法は子どもに持たせることが多い。

授業参観や保護者面談等で保護者が学校へ行くときに回収ボックスを設置(富士見台)。

古紙回収のような、役員自身が回収に地域をまわるという学校は少数派。

回収場所をマックスバリュ等のスーパーマーケット、ドラッグストアに設定し、

回収ボックスの設置をお願いして、役員と業者のパッカー車でまわり回収する

学校もあり。

③ その他

コロナ禍でPTA役員や保護者が集まれない為、奉仕作業ができず草取り等を

先生方が時間を割いてやってくれている。

児童数が減っているなので、参加できる保護者が減ってしまい出来る奉仕作業も

限られてしまう。

全体的に集まった部長以上の役員さんたちはコロナ禍前の活動を知らないことが

多く、不安を抱えたままで活動されている印象。

この合同研修会で情報交換し、合同研修会で得られた他校の活動情報が、不安解消

とまではいかななくても活動の方向性、道筋になれたのではないかと思います。

以上



令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	富士川第一中学校	参加者数	10名
分科会	生活指導部(小A)	助言者	原田小学校校長	
司会者	富士川第一小学校P T A会長	記録者	岩松小学校P T A会長	
テーマ				
非行防止・かけこみ110番・旗振り・交通指導・危険個所のあらいだし				
会議概要				
<b>1. 出席者の自己紹介</b>				
<b>2. 非行防止、夜間の見守りについて</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン南があるので夏休みになると長時間遊んでしまうので近所から要望もあり、車で部員と先生と見回りをしている。店内も歩いてまわる。</li> <li>・去年はできなかったので今年はやってみたいと思う。</li> <li>・19時から21時位まで何箇所かまわる。</li> <li>・毎年、夏・冬に行く。生活指導部員、地区の安全協会の方と、19時から20時半まで公園や駅周辺を歩いて見回る。中、高生にも声をかける。</li> <li>・7月、12月の県下一斉補導に合わせて地区役員と中学校のP T A役員と地域ごとに別れて、見守りをする。</li> <li>・子どもと会うことはないが歩道の街灯のチェックや歩いて感じたことを話し合う。</li> </ul>				
司会) 塾とか親の都合で帰れない子もいるし、また地域がらもあると思うので、見守り・声かけを上手にしていってほしいです。				
これから祭りなどの行事も始まるので、夜間のパトロール、見守りなど効果が出てくると思う。昼間、下校後のパトロールはありますか?実施していない。				
<b>3. かけこみ110番について</b>				
司会) やり手がない、高齢化、新規がない、声をかけづらい、頼みづらいなどの意見が多かった。工夫していること、教えてください。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き渡し訓練の時に保護者にアンケートをして、プレートの設置ができるか、または情報提供をお願いする。なってくれる方にはP T Aから連絡をして確認して約束をする。挨拶にも行く。</li> <li>・引き渡し訓練の時に地図を配布して親子で確認をする。</li> <li>・回覧板でも募集をかける。</li> </ul>				
司会) 地図について、作っているところも多いですね。校内の掲示はないが、各家庭に配布。個人情報なので名前を出さず、プレートの絵を添付している。				
児童宅をかけこみ110番にしていますか?各家庭にお願いできたら増えるし、身近な人と行きやすい。今年がいいが来年はできなくても、強制ではないので依頼もいいかと思います。				
学校とP T Aと一緒にやるのはどうですか?				
助言者) 窓口もないし教員が入るには難しい。地区の担当もない。学校運営協議会があり、生涯学習の集まりで広報活動をどうですか。				



令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	富士川第一中学校	参加者数	11名
分科会	生活指導部(小B)	助言者	富士川第一小学校校長	
司会者	市P連副会長	記録者	富士川第二小学校P T A会長	
<p>テーマ 生活指導部のP T A活動の内容について</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>旗振り当番をどのように行っているのか(やり方・回数など)</p>				
<p>あいさつ運動含め年6回(元吉原小)、年3~5回(吉原小・今泉小)、年2~5回(伝法小)、 年3回(大淵第一小・富士見台小)、年2回(原田小)、年1~3回(須津小・吉永第一小)、 なし(東小・神戸小)。年間の計画の中で実施。対象者は学校ごとに役員や地区別などそれぞれ。</p>				
<p>問題点として</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員だけが旗振りをするのはおかしいのでは。(役員だけが旗振り担当の学校)</li> <li>・子どもが多い学校(地区)と小さい学校(地区)では親の負担が違いすぎる。</li> <li>・シルバーの方々が交差点などで朝指導していただいているが、地域によってはいないところもある。</li> <li>・シルバーの方と旗振り当番が同じところをやっていて意味があるのか?</li> <li>・登校より下校の方が心配だ。</li> </ul>				
<p>さらなる議題として、各学校帰りの(下校)見守りはどのようにしているのか。また地域の心配事など。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの方がみている(元吉原小・富士見台小)</li> <li>・1年生の下校時にみている(須津小)</li> <li>・地下道など危険なところを清掃時に(伝法小)</li> <li>・なぜ地域の交番が無くなってしまうのか。とても不安である。(神戸小・富士見台小)</li> <li>・学校前の交番が無くなる予定のようですがとても不安である。(吉永第一小)</li> </ul>				
<p>要望として</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとシルバーなどの方と地域で連携はとれないのか。</li> <li>・シルバーの方がいない地域など市が全体の問題として考えてみてもらえないのか。</li> </ul>				

- ・市全体で考えることをしてほしい。
- ・せっかくいい組織がたくさんあるのに横の連携をとってほしい。
- ・PTAの役員は毎年交代してしまうので継続できる組織がほしい。
- ・地域のいろいろな組織と連携して負担軽減を検討していただきたい。

助言者より（山本校長先生）

これからのPTA活動は、任意団体であるので参加できる方がする。ボランティアであるので、できる方ができるやり方で活動し、組織の在り方も考えなくてはならないと思います。

全国の各地区ではPTAの在り方も変化しております。

各学校もPTA会長さんや校長先生を中心に今後の活動なども考えていってほしいと思います。

今回の会議について

- ・DXの時代でなぜZoomでないのか？
- ・いろいろな学校の状況や意見を聞くのに時間が少なすぎるのでは。
- ・集め方が片寄りすぎではないのか？（分散はわかるが中心で行えば移動時間も少なく済むのでは）
- ・時間を作り子どもを残してきているのに欠席者がいるのはなぜか？（欠席でもよかったのか）
- ・この会議ででた意見（要望）はしっかりと反映させてほしい。（要望などの回答はほしい）
- ・皆さんの声が聞こえない。

令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	富士川第一中学校	参加者数	15名
分科会	生活指導部(中)		助言者	富士川第一中学校校長
司会者	岩松中学校PTA会長		記録者	富士川第二中学校PTA会長
テーマ 活動内容、その他について				
会議概要				
登校指導について				
・コロナ禍の為、実施出来ずの学校が殆どでした。				
・コロナ禍が続き、実際に活動を行った人がおらず、活動という活動が行えず、引継ぎが出来ない悩み。				
・コロナの様子を見ながら行っていきましょうとしたが、なかなか出来なかった。				
・学校によっては体育保健部と専門部が一緒になり、活動範囲が狭くなった。				
・活動量が減ったことで、現在の専門部員の数を減らしていく傾向。				
→活動を行えていない状況で、引継ぎというものが出来ない。				
活動量が減った事で部員数の減少へシフト。				
登下校の制服				
・男女問わず、スラックス、ブレザーになった				
・スラックスは希望の子のみ				
・制服は費用が掛かる。特に女子の制服の金額が高い。夏場は暑く、子どもから評判があまり良くない。				
体操服で登下校OKの最近だが、費用対効果が無いのでは。				
・いつから制服を切り替えるか、話し合い中				
・女子で学ランOKとあったが、男女揃えた制服が良い				
・体操服が白いので透けるので、紺色の体操服になった。				
・どこでも購入出来るポロシャツ等としたら、買いやすいのでは。				
→体操服だと帰宅してもそのまま着替えない、というケースもあるのだとしたら制服の方が良い？				
でも制服は高い？高いが制服は3年間着られるようにと作ってあるので、丈夫ではある。				



令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会  
分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	吉原東中学校	参加者数	15名
分科会	家庭教育委員会(小A)	助言者	富士川第二小学校校長	
司会者	丘小学校PTA会長	記録者	吉原第三中学校PTA会長	
テーマ				
コロナ禍における活動について				
会議概要				
1) コロナ禍における活動について				
①給食試食会について				
ア) 給食試食会開催の有無について				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前実施していたが現在開催を見合わせている(8校(うち1校は見学会へ変更))</li> <li>・感染拡大防止対策を十分に行った上で実施した(4校(うち今後は中止予定2校))</li> </ul>				
イ) 給食試食会に関する懸念事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者を1年生の保護者に限定していたが、コロナ禍で未開催分の学年も対象とした場合、参加者希望者が多くなってしまう可能性がある。</li> <li>・平日日中の開催となるため役員が休暇を取得しなければならず負担が大きい。</li> </ul>				
②コサージュについて				
ア) コサージュの調達方法について				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既製品の購入(9校)→保護者が書いたメッセージカードを付ける等の工夫あり</li> <li>・PTAによる手作り(2校)</li> <li>・児童による手作り(PTAが指導する)(1校)</li> </ul>				
イ) コサージュに関する懸念事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非会員の場合は実費を負担してもらっている。</li> <li>・非会員であっても子供がかわいそうなのでコサージュを渡したことがあったが、会員から不満が出ている。</li> <li>・手作りの場合、負担感がある。</li> </ul>				

③その他（活動に関して）

- ・かつては味噌づくり教室等を実施していたが廃止した。
- ・ブラスバンド演奏会や講和などの文化講座を実施した。
- ・小学校の祭に手伝いとして参加している。

2) その他（全体を通して）

- ・共働き世帯の増加など保護者の時間も無くなってきており、PTA 活動への負担感が増大している。
- ・「役員をやりたくないから PTA を脱会する」といった声もある。
- ・各専門部を廃止し、協力者で組織した執行部が運営を行うよう組織改革を実施した。事業は都度 エントリー制としている。
- ・目まぐるしいスピードで時代が変わっていく中、持続可能な PTA となるよう進めていきたい。

－以上－

# 令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会 分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	吉原東中学校	参加者数	18名
部会名	家庭教育委員会(小B)	助言者	天間小学校校長	
司会者	吉永第一小学校PTA会長	記録者	市P連顧問	
<p>テーマ 各校独自の活動 コロナ禍での活動実績、活動予定</p>				
<p>会議概要</p>				
<p><b>【各校独自の活動】</b></p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・味噌づくり</li> <li>・地区文化祭出店(らくがきせんべい)→コサージュ資金</li> <li>・茶摘み</li> <li>・読み聞かす(朝読書の時間)</li> <li>・成人教育とコラボして吹奏楽コンサート</li> <li>・本交換会</li> <li>・環境整備協力家庭教育はトイレ清掃</li> </ul>				
<p>それぞれ地域の特徴を生かした活動を行っていました。</p>				
<p><b>【コロナ禍での活動実績、活動予定】</b></p>				
<p>活動実績のある学校がなかったのでテーマを活動予定に変更しました。</p>				
<p>給食試食会についてのお話が主になりました。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数制限を設けた(対象を全学年から低学年のみ)</li> <li>→それでも多い場合は抽選</li> <li>・子どもの給食参観見学はなし</li> <li>・試食しながら講和</li> <li>・試食会場を増やした</li> <li>・試食なし講和のみ(体育館で通年より規模を大きく)</li> </ul>				
<p>活動を実施するための、いろいろな工夫をしていました。</p>				

【その他】

\* コサージュについて

・ 資金 ①PTA 会費(大多数)

②地区文化祭等出店売上(2校)

・ 作成 ①完成品の購入(早割りを利用して経費削減、大多数)

②キットを購入して保護者作成(6年生の保護者、有志、家庭教育)

③デザインから購入作成まで・・・

各校が行っている活動だったので、いろいろな方法の意見交換できて大変勉強になりました。

以上

# 令和4年度 P T A副会長・専門部長・家庭教育委員合同研修会 分科会会議記録簿

令和4年6月23日(木)	会場	吉原東中学校	参加者数	17名
分科会	家庭教育委員会(中)	助言者	吉原東中学校校長	
司会者	岳陽中学校P T A会長	記録者	大淵中学校P T A会長	
<p>テーマ</p> <p>*コロナ禍での活動、役員決め                      *給食試食会について                      *コサージュ作成について</p> <p>*スマホとのつきあい方                                      *緊急時の対応と応急処置</p>				
<p>会議概要</p> <p>自己紹介と各学校の家庭教育委員会の活動と現状についてのミーティングとなりました。</p> <p>項目ごと報告させていただきます</p>				
<p>*コロナ禍での活動、役員決め</p> <p>・昨今のコロナ感染の影響により、各活動の中止、縮小開催が多くなっているそうです。</p> <p>密を避けた活動をするのにどのように対応すればよいか？人数を制限、感染対策の徹底等の話し合いとなりました。</p> <p>・昨今の役員決めについては、地区ごと順番や、やはりどの学校もくじ引きによる選出が多く、あたりなのか？はずれなのか？と、どちらとも言えない意見が出る中、自分から積極的に役員になる素晴らしい方や、役員選出に直接声を掛け、誘う学校もありました。</p> <p>母親委員会から家庭教育委員会に変更後の男性役員の所属について活動しやすいか、名前が変わってから何か変化があったかの意見も出ましたが、男性役員の参加は今後も少なくなりそうです。</p>				
<p>*給食試食会</p> <p>・中学校での給食試食会を実施している学校は少なく、現状では密を避け、体育館での試食会開催や、黙食、時間短縮などで参加人数も激減している状態でした。今後は中止を検討するところが増えそうです。人数制限や決め事が多く実施が難しいとの意見もありました。</p> <p>そんな中、給食試食会を部活動壮行会と同日に実施し、各教室リモートで応援動画を視聴したり、</p>				

イベントや特典を付け開催し、参加者を募る学校もありました。

#### \*コサージュ作成について

・家庭教育委員会はどの学校も主にコサージュの作成に力を入れてきていますが、役員の減少  
収益の変動により難しくなっています。

手作りコサージュの場合、パーツごとの購入（花、リボン、テープ等）時間と労力がかかる。

既製品では発注のタイミングがわからない等の意見の中、早期発注の早割を使うなど工夫  
されているそうです。

#### \*スマホとのつきあい方

・中学生でスマホ・タブレットを所有している生徒は約半数位の割合ですが、SNSによる  
トラブルが多く、親も周囲からの情報で子供がトラブルに巻き込まれていることを知ることが  
多く。生徒自身で悩んでいる子も多いのが現状。

スマホを持たせている家庭 → 友達も持っているから。連絡ツールとして。

スマホを持たせていない家庭 → SNSトラブル回避、今はなくても困らない（子供の意見）

スマホを所有するしないに関係なく、親にスマホを見られても大丈夫な親子の信頼関係を築き、  
理解して正しく使えるスキルを身に付けさせる。使用時間の制限を設ける。

親自身でSNSアドバイザーの資格の所得。

まだまだスマホ所有に関する問題は今後もゴールの見えない課題が多くありそうです。

#### \*緊急時の対応と応急処置

・上記の内容としては、家庭教育委員会は女性役員がほとんどで、会合の時間帯が一番忙しく、  
子供の習い事の送迎、家事育児と活動に支障もでることも多く、祖父母に頼んだり、周囲の  
負担も多くなっています。子供の為に役員か？日常生活優先か？

対策としては、会合をリモート化にし、スピーディーな進行を心がけ、家をなるべくあける  
とがないようにする。（子供だけで留守番している家庭もあり、非常に危険！）